

アメリカ海軍所属兵による住居不法侵入、損壊事件に対する意見書及び抗議決議

去る10月27日、地域住民が寝静まろうとしていた時間帯に、恩納村富着区において米ハワイ州米海軍所属の海軍兵が正当な理由がないにもかかわらず、民家敷地内に侵入したとして、不法侵入の容疑により現行犯で1名は逮捕されたが2名は逃走する事件が発生した。その時の住民の恐怖は察するに余りがある。今回の事件は平穏で安心な村民の生活を脅かす蛮行として断じて許すことはできない。

また、住居侵入事件の同日、酒に酔って村内の飲食店で暴れているとの飲食店従業員の通報により、石川警察署と沖縄県警本部の警察官が駆け付けたところ、沖縄県警の警察官の乗車する警ら用無線自動車のフロントガラスに角材を投げつけ損壊させ、職務の執行を妨害した。

恩納村は、国内外から多くの観光客が訪れる沖縄観光の要の地域でもあり、事件発生時間帯にも周辺の宿泊施設に宿泊する観光客が、まだ周辺を行き交うこともあることから、場合によっては観光客が事件に巻き込まれた可能性もあり、本村の観光産業に与える影響も危惧される。

よって、恩納村議会は村民の生命、財産を守る立場から、アメリカ海軍兵による村内における住居不法侵入・警察車両への損壊事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項について速やかに実現するよう強く要請する。

記

1. 被疑者を厳正に処罰し、米軍人・軍属の綱紀粛正を徹底すること。
2. 事件の再発防止と具体的な解決策を日米両政府で作成し、実効性のある抜本的な再発防止策を公表すること。
3. 日米両政府は早急に日米地位協定を抜本的に見直すこと。



沖縄防衛局

令和元年11月6日

沖縄県恩納村議会

意見書(地方自治法第99条の規定により意見書を提出)

あて先：内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄特命全権大使 沖縄防衛局長

抗議決議

あて先：在日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事
米海軍特殊戦コマンド指令官

村議会では、11月6日の臨時会において、10月27日に村富着区であった米海軍兵による住居不法侵入、パトカー損壊事件に対する抗議決議と意見書の両案を全会一致で可決した。

同日、沖縄防衛局で竹内芳寿次長に意見書を、嘉手納基地で在沖米海軍艦隊活動司令部のロバート・バーディ広報・渉外部長に抗議決議書を、それぞれ手渡した。

◆◆◆大城 保 議員◆◆◆



農業支援について

質 恩納村園芸農業活性化協議会、この10月解散します。解散後、指導員が不在となりますが、支援センターの管理、開閉等はどのように行っていくのか。

答 農林水産課長 宮平 寛
農林水産課の職員で輪番制でやっていますと考えています。



農業支援センター

質 今後支援センターの運営については支障がないという認識でよろしいですか。

答 農林水産課長 宮平 寛
鍵の開閉だけではなく、職員が常駐することで、今の体制からは変わらないと思っています。

質 農業経営アドバイザーのこれまでの功績は大きい。今後、活性協議会の指導員も不在となります。経営アドバイザーの常勤化の考えはないか。

答 農林水産課長 宮平 寛
常勤化となりますと、人材を確保するのが難しい。まずは週3日を考えていきたい。

質 アボカドの優良品種の選定、パインの普及に取り組んでいる。今後も専門知識を持ったアドバイザーが必要だと思います。村長の考えをお聞かせください。

答 村長 長浜善巳
今後人選、常勤化も含めて交渉し、農業施策を展開してまいります。

質 うんなまつりにまつてまつりを終えて所管する担当課長の率直な感想を伺います。

答 商工観光課長 山田俊幸

多くの関係者皆様の協力のもとに終わったことについてお礼を申し上げたい。今後は皆様の意見、要望等もしっかり受けとめ、次回開催に向け邁進していきたい。

質 村民からどのような意見、感想が寄せられたのか。

答 商工観光課長 山田俊幸
牛汁、魚・果物つかみ取り、花火の数が多くて毎年楽しみですが、沖縄県一番素晴らしいまつり、暑すぎます、時期をずらして等、多くの意見がありました。

質 暑い中での祭りの開催、検討する時期に来ているのではないかと。

答 商工観光課長 山田俊幸
村民から開催時期についての意見等もいただいております。今後は運営委員会で、開催時期等について協議してまいります。

質 毎回設置されるステージ、仮設で設置しておりますが、長い目で見た場合、常設も検討すべきではないか。

答 商工観光課長 山田俊幸
コミュニティ広場、多種多様な利活用がされております。関係課と協議し考えていきたい。

◆◆◆恩納村歌について◆◆◆



うんなまつりステージ

質 恩納村歌の普及に向けたこれまでの取り組みを伺います。

答 学校教育課長 石川 司
学校で朝の登校時、給食の休みに継続して放送していただいている。

質 6時の帰宅を促す放送時に、村歌のメロディーを流す防災無線の活用ができないか。

答 総務課長 新里勝弘
今、防災無線に関して敏感に対応する村民も多くて、断念したところがあります。今後、ホームページでクリックして音声聞けるよう、システムを構築してまいります。